

草の根無償「アカフトラ市メタリオ村エル・ナンセ地区初等学校整備計画」案件終了式

2021年12月15日、ソンソナテ県において「アカフトラ市メタリオ村エル・ナンセ地区初等学校整備計画」の案件終了式を実施しました。同終了式には、アレマン・アカフトラ市役所代表、メンデス同校校長、学校関係者の他、当館館員が出席し、記念碑除幕や記念植樹等を行いました。

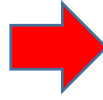
本計画は、草の根・人間の安全保障無償資金協力によるもので、ソンソナテ県アカフトラ市メタリオ村エル・ナンセ地区初等学校に新規常設教室1室・厨房兼倉庫・水洗トイレ及び保健室の建設、常設教室2室、仮設教室1室及び校長室の改修、浄化槽及び境界柵の設置を行いました。プロジェクト総額は101,554.73米ドルで、その内日本政府は90,571.00米ドル、アカフトラ市役所は8,500.00米ドル、そして地域住民は2,483.73米ドルを拠出しました。

実施前は、常設教室は経年劣化による雨漏りの被害を受けており、地面の隆起により床が割れ、窓がなく軒が短いため、雨風が教室内に入り込み授業に支障をきたしていました。仮設教室1室はタンで建てられていたために、教室の中は暑くなりやすく、床は地面がむき出しの簡素な作りだったため、教室内は常に土埃が充満していました。また、他の仮設教室2室は児童数増加により教室不足となったため、厨房兼倉庫だったところを教室として利用している状態でした。そのため、厨房兼倉庫として使用していた場所は、窓や内天井が設置されていない簡易な作りとなっており、熱がこもりやすく雨や土埃が入るため、きちんとした衛生状態を保てていませんでした。このようは劣悪な環境を改善すべく、本案件が実施されました。

案件完了後は雨漏り、床の割れ目等の問題がなくなり、天井を設置することで屋根から直接受ける太陽熱が緩和されました。また、入り込む土埃に悩まされることなく、安心して学習できる環境が整いました。さらに、厨房兼倉庫、水洗トイレ及び保健室が整備され、衛生的な環境になりました。

本計画実施により、メタリオ村エル・ナンセ地区初等学校に通学する150名の児童・生徒とその家族及び教員4名の学習環境の質が改善されました。また、健康推進員が駐在する保健室を改修することで地域住民1,500名の医療サービスが向上しました。

実施前



実施後



案件終了式テープカット



記念植樹



記念碑除幕



記念碑除幕

〈裨益者からの声〉



生徒を代表して、日本の皆様の協力により、このような素敵な教室を建てていただいたことに心より感謝します。

生徒代表（9年生）

今日のこの日に案件終了式を実施することができ誇りに思っています。日本の協力で、学習に適した学校に建て直していただき、教師全員大変喜ばしく思っています。日本の皆様の友情に心から感謝いたします。

教師代表

